

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
お互い様の心でつながる町づくり	健康で笑顔で安心して暮らせる町	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 集いの場、参加と支援 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に集える場がない。 参加する人が決まっている。参加できない人の対応。 支援者の高齢化 アパート・マンションの支援が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> 行きやすい場所に通いの場があるよう地域活動を継続する。 世代間交流や地域活動の支援者を啓発する。 男性の地域の活動参加状況などを確認しながら、参加を啓発していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ※各町内の状況をふまえて活動を支援していく 参加者、支援者の発掘と育成 命のバトンの再整備
			<ul style="list-style-type: none"> 健康維持、認知症 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、生活不活発病、フレイルの進行が危惧される 認知症の接し方、実情がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン、百歳体操の継続推進 サロン等での啓発、勉強会 関係機関との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> サロンの継続、推進（毎週水曜13:30～） ささえりあ本荘と連携。 認証症サポーター養成研修等の開催。
		障がい児・者	<ul style="list-style-type: none"> 知識が乏しい、関わりが少ない。 接し方が、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある方や関係する機関と直接関わる事が少なく、具体的にイメージできない。 声かけ等どうしていいのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある方への関わりや対応についての普及活動(研修会等)を行う。 校区の会議や活動に参加し、現状(障がいに関する事)を地域の方々にお伝えしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃・参加しやすい行事に呼びかける。 手話傾聴等、魅力ある研修会の開催。 施設等との交流を検討する。
			<ul style="list-style-type: none"> 実態把握が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 校区において、障がいのある方の実態(人数、生活)がわからない。 個人情報等の問題もあり情報収集できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取扱いを留意し、本人の同意を得て情報の取得をしていく。 校区の活動等に参加する事で、地域住民と一緒に実情を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関（ちゅうおう）等と連携する。 障がい者サポーター養成研修の開催
	子供は校区の宝	子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の見守り 登下校時の安全確保 集える場、行事が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 世帯とのかかわりが、できない。 サークル等への参加が少ない。 夏祭り、どんどや等地域行事が中止になっている。 子ども会の衰退。中、高校生の支援が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> 見守り推進と地域活動の情報共有 関係機関との情報共有 フッ化物洗口事業や挨拶運動を通して子どもたちの様子を見守っている。 	<ul style="list-style-type: none"> サロン後の空き時間、スペースの有効活用 14：30～コミセン 日頃の見守りの啓発推進 サークル、イベントの開催と呼びかけ PTA、学校との連携 地域食堂の企画
			<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん・子どもが少ない 子育て世帯の孤立、虐待防止 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の生徒数が少なく、複式学級となっている。 子育て世帯は定住者が少なく転居していく方が多い。 年少人口が極めて低く、児童減少は以前からの課題。 朝ご飯を作ってもらえない生徒がいると聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内、校区で世代間交流の場を作る 孤食、貧困家庭への支援 	
	自分の身は自分で守る	災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えた平時の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者及び個別計画等の整理が出来ていない 白川沿いの校区。防災訓練などの取り組みを行っているが、若い世代、単身世帯の参加は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者避難支援制度の活用 避難時に支援が必要な方のシュミレーションを町内防災協ごとに想定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携 防災活動の啓発、推進 避難行動計画作成（47名） 個別避難支援プランの再整備
			<ul style="list-style-type: none"> 防災意識高揚に向けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 避難に関する行政情報の伝達と理解不足 避難タイミングについての整理不足 地域の危険箇所情報の周知不足 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策基本法の一部を改正する法律についての周知 防災クラブの活動を啓発していく。 地域版ハザードマップの作成と周知。 	
	助け合う町づくり	その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域役員の担い手不足 地域団体の活動内容がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種役員、民生委員が不足している。 役員の顔ぶれは一緒に、高齢化も進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体の担い手の育成。各町内でイベント等のお手伝いをお願いする 元気高齢者が活躍できる場の推進（地域福祉デビュー） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体、地域行事の情報発信と交換。 地域の担い手の育成。 世代交代に向けての面白い企画。
			<ul style="list-style-type: none"> ボランティア、若い世代の取り込み 学生、元気高齢者、企業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりのボランティアの人数はとても高い。 学生、元気高齢者、若い世帯との接点薄い。 企業は有力な地域資源として今後、期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が興味を示す参加しやすい企画を（デジタル等の活用も） 回覧版他、ライン等の活用（情報伝達、発信の工夫） 美化維持活動を通し地域福祉の推進（公園デビュー） 	